

2024年6月23日（日）第二礼拝「愛によって表現される信仰」ガラテヤ5章6節

信仰と愛には深い関係があります。聖書は「愛によって働く信仰」と書いてあります。私たちはイエス様を信じて救われました。救われた私たちの信仰は神様を愛し、隣人を愛することで目に見える形となります。信仰は見えませんが、愛は見えます。

第一番目、信仰によって義と認められます。アダムとエバが罪を犯した結果、彼らは罪の報酬である死を受けました。その罪の遺伝により私たちも一度死ぬことが定められています。しかし、そんな滅びゆく運命の私たちのために神様が人間となって来られ、十字架を通して私たちを救い出してくださいました。イエス様を信じる信仰によって私たちは義とされるのです。「モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。」(ヨハネ3:14) 蛇は罪を表します。イエス様は私たちのために十字架につけられ、青銅の蛇(罪)となられ、審判を受けてくださいました。それを信じる人には永遠のいのちが与えられるのです。「…それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びる(地獄に行く)ことなく、永遠のいのち(天国)を持つためである。」(ヨハネ3:16) また、信仰によって義とされ救われた私たちは日々礼拝し、御言葉を読み、賛美し、信仰を強めていくことが大切です。

私たちは救われた後でも罪を犯し続けます。ペテロが「兄弟が罪を犯した時、七度まで赦すべきでしょうか。」と聞くと、イエス様は「七度を七十倍するまで。」と言われました。罪を犯す度に神様の赦しと愛を体験することで、私たちもまた人を赦す者とされるのです。

第二番目、赦された私たちに聖霊が与えられます。「わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。」(ヨハネ14:18) 聖霊様は私たちと共に住んでくださいます。聖霊様によって歩む時、肉の欲求を満足させることはありません。肉体には欲がありますが、私たちが聖霊様に従っていくことでこの世の欲や罪から解放されていくのです。私たちの力で肉の欲に勝つことはできません。パウロは「私は、ほんとうにみじめな人間です。だれがこの死の、からだから、私を救い出してくれるのでしょうか。(ローマ7:24)」と言って、神様の律法を行う力が人間にはないことを告白しています。その力は聖霊様から来ます。聖霊様は深い憐みをもって私たちの知識、感情、意志に働きかけてくださり、私たちに律法を行う力を与え、主の憐みの目で人や物事を見る者としてくださいます。

第三番目、信仰は愛によって表現されます。信仰とは神様との個人的な関係なので、目に見えるものではありません。しかし、私たちの信仰が愛の行いによって目に見える形で表れる時、周りの人々がその信仰を認めるようになるのです。「…信仰も、もし行いがなかったなら、それだけでは、死んだものです。」(ヤコブ2:17) 福音は神様の無条件の愛です。この神様の無条件の愛を受けて、私たちは愛の人に変えられ、互いに愛し合うことができるのです。罪の赦し、病の癒し、アブラハムの祝福、永遠のいのちを与えるほどの神様の愛が私たちの中に働いて、その同じ愛を周りの人々に示すことで、私たちはイエス様の弟子だと人々が認めるようになるのです(ヨハネ13:34~35)。アーメン！